

### ③ 主要事業の概要

続きまして、平成22年度の主な事業概要について、総合計画に掲げた5つの基本目標に沿って説明します。

#### 第1 「人と自然にやさしい基盤と環境を育てます」

「東海岸開発構想」については、上位計画との整合性等を図り、事業の可能性について調査を実施いたします。

平成24年度開学予定の沖縄科学技術大学院大学に関連して、本市はキャンパスタウンに位置づけられており、石川地区周辺整備事業に取り組みます。

市道については、石川34号線ほか9路線の継続事業を進めるとともに、新規事業として津堅地区道路整備事業に着手し、主要道路網や生活道路の整備を進めます。

街路については、石川西線及び安慶名4区線の継続事業を進めるとともに、新規事業として安慶名3区線及び兼箇

段高江洲線道路改築事業に着手します。

現在、試験運行中の庁舎間連絡バスについては、本格運行へ移行するとともに、コミュニティバスについては引き続き検討します。

地域情報化については、地域イントラネットの安定稼働に努めるとともに、情報通信格差是正のためブロードバンド環境整備を進めます。

安慶名土地地区画整理事業については、建物移転補償の進捗に併せ、幹線となる街路や区画道路を中心に工事を実施します。また宅地の早期利用に努めるとともに、緑豊かで、ゆとりとうるおいのある居住環境の確保にふさわしい建築物の誘導を図ります。

さらに、中心市街地の活性化を目指し、地域主導の個性あるまちづくりを支援し、都市の再生に取り組みます。

組合施行の土地地区画整理事業については、引き続き技術的指導等の支援を行い、早期完了を目指します。

また、非補助・小規模土地地区画整理事業については、県からの権限委譲により市の認



可となるため、組合施行等による区画整理の自発的な立ち上げや地域の実情に応じたまちづくりを支援します。

石川地区の用途未指定地域における良好な環境を形成・保持するため、特定用途制限地域の指定に向けて取り組みます。

市営住宅については、指定管理者と連絡を密にし、施設の管理及び使用料の徴収率向上に努めるとともに、住宅用火災警報器を設置します。

また、饒辺団地建設事業については、本体工事に着手します。

本市は、景観法に基づく景観行政団体となりましたが、

多彩で特色ある美しい景観を「守り、育て、活かす」ため、景観計画を策定し、良好な景観まちづくりに取り組みます。

循環型社会については、長期的な視野に立ち、EMなどを活用した「環境にやさしい癒しのまちづくり」を推進します。

また、「うるま市バイオマスタウン構想」に基づき、廃食用油・廃木材等の再資源化を推進します。



さらに、身近な問題であるごみ減量化やリサイクルなどについては、分別による資源化の必要性、効用等についての啓発活動を地域とともに推